



苑長就任のご挨拶

～ 和と思いやりと寛容 ～

社会福祉法人光照園 王子光照苑 苑長 室 岳男

例年に比べて少々遅れて咲き始めた桜もやっと満開になりました。コロナ禍も落ち着き今年は花見に行かれる方も多いようです。

平素より、王子光照苑をご利用頂き、またご支援を賜りありがとうございます。

令和6年4月1日に王子光照苑 苑長を拝命しました。これからも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、私自身北区生まれの北区育ちです。現在名前が変わってしまった都立高校に通学していたころから、王子の街には大変お世話になっております。この「人情に篤い街」のおかげで、楽しく高校生活を送ることができました。

そして私が王子光照苑に入職したのは、平成4年5月になります。これまでたくさんの出会いがあり、たくさんの教えがあり、私自身専門職として成長させていただきました。中でも、私の仕事上の師匠である故花輪苑長（平成17年逝去）には、たくさんのお話を学ばせて頂きました。当時はまだ若い職員も多く（今は、経験を重ねて王子光照苑を支えてくれています。）結婚式に招待されることもたびたびありました。そのような時に、必ず話されていたのが、「思いやり」です。その時は、また同じ話をしているなあ、という位にしか感じていませんでしたが、今思うと、「寛容」にも通じた大切さを教えてくれたように思います。また、言葉として言われたことではないのですが、施設を運営し、事業を展開していく上で大切にされていたことが、「和を以て貴しとなす」ということであったと思います。対人援助は、様々な形のチームで支援をすることが求められます。利用者もその「和」の一員となれるような関係を作っていければ最高のチームになれます。

「和」と「思いやり」と「寛容」を念頭に、入居者の皆様、利用者の皆様、ご家族の皆様、地域の皆様が楽しく日々を過ごし、安心して生活ができるようサービスを提供し、当法人の理念である。「社会福祉法人光照園は、王子・江戸川の人情に篤い地にあることを誇りに思い、住み慣れた地域で、尊厳をもって「その人らしく」生活できるよう支援します。」を実現したいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

令和6年4月 吉日